

世界物理年日本委員会 第9回運営委員会 議事録 (案)

日時 : 2005年1月21日(金) 10:00~12:20

会場 : 科学技術館・第6会議室

出席者: 北原和夫、榊裕之、松田卓也、並木雅俊、有山正孝、大熊健司、
伊東乾、興直孝、富樫衛、岩瀬暢男、吉田浄、澁谷聡、大野力

1. 国際対応について

(1) 1/31-2/1: 台湾 (岩瀬)

- ・AAPPS サミットがあり、副会長の多田氏が参加してスピーチ予定。
- ・日本の活動を発表する良い機会なので、ユネスコ国際会議に持参した資料を Ver.Up して持参する方向で検討。

(2) 5/23-25: ブラジル (応物/物理学会)

- ・派遣する予定だが、正式なオファーはまだない。寄付要請については今後あるかもしれない。

(3) 10月: 南ア (北原、榊)

- ・資金要請/人的協力(特にエネルギー環境分野)についてどうするか。
- ・きちんと骨子が固まっているのか疑わしい。(榊)
- ・物理と応物で担当者を出して対応すべき。(北原) →担当理事は応用・物理も決まっている。(榊、富樫)
- ・JCWYP として全体で幾ら払うという形で終止符を打ってほしい。(榊) →北原委員長より現地担当者に確認。

(4) アインシュタイン展 (ドイツ大使館)

- ・科学博物館で行なう方向で動いている。側面的なサポート(資料供出等)を JCWYP でできれば良い。(北原)
- ・ドイツ大使館がマスコミ関係各位に協力要請を出しているようで、要請された某新聞社とテレビ局が少々混乱済み。(伊東) →交通整理が必要。

1. 各種報告について

(1) ユネスコ国際会議について (北原)

- ・300人の学生が参加(内、女子は25%)。
- ・帰国後、参加学生2名から報告があった。
- ・日本委員会の説明の英文を持参し、配布した。

(2) 米国祝賀式典について (吉田)

- ・佐藤文隆氏に原稿を依頼し、数日の間に提出頂いた。現在英訳中である。
- ・挿絵については、岡本一平氏。写真は杉本氏。間に合うように1000部を送る予定。
- ・日本の先進性(1980年代に英文を出してたことなど)についても盛り込みたい。(北原)

- ・佐藤氏の文章について、委員会としての文章という位置づけで出すのであれば、あれば、1919年からの流れが1922年にピークを迎えるという連続性を持たせた方が良いのではないか。(伊東)
- ・佐藤氏原稿に手を加えるのは失礼ではないか。(松田)
- ・A4版3枚程度の折込なので、原稿をいじらずに、委員会の意見を反映できると考える。(並木)

(3)大学の呼びかけについて (大野)

- ・171件中42件から回答があった。
- ・オープンキャンパス35件、学園祭13件、物理教室5件、その他11件(内HP掲載希望は29件、後日Upload予定)

1. 部会からの報告

(1)春休みイベント (有山)

- ・場所は科学技術館の1階と2階。
- ・次回の部会ではほぼイベント内容を確定する予定。
- ・PRについてはHPにUpload。
- ・ポスターは作らず、チラシを作成する予定。
- ・資金は文部科学省から400万円前後の補助が得られる予定。
- ・天文の3D映像の企画については、国立天文台用のシステムなので、事前にテストが必要。

(2)春イベント (北原)

1日目

- ・木下先生から、講演概要原稿が提出された。
- ・万一の時のヤン先生の代理として黒川氏経由で依頼していたスティーブン・チューも来日できるとのこと。(伊東)
- ・ヤンとチューの位置付けについては考える必要あり。時間的に難あり。黒川氏と北原・吉田・伊東で検討/調整予定。
- ・パネルトークの大賀氏がまだ参加確定ではない。(伊東)
- ・顕彰を受ける団体には、2日目のイベントも合わせて招待状を出して欲しい。(榊)
- ・東京宣言(英文)についてはどうなっているのか。(伊東) →次回の議題にする。(北原)

2日目

- ・新作能については演出家と会合を持った。
- ・2月中旬に奏楽堂に出向いて関係者と打ち合わせる予定。
- ・パネルトークについては、現時点で1名未定。
- ・鑑賞料については要検討。会員割引を設ける形ではどうか。チケットは一般券売業者を通して買えるようにしたい。また、客席数は1000で、能愛好者だけでは埋められない。(吉田)
- ・物理の中で能を好きな人しか来ないのではないか。(松田)
- ・収支を考えると、会員割引については会員数を増やすことと合わせて考えるべきではないか(会員優先にする等)。また、会員管理WEBを整備する必要があるのではないか。(伊東) →次回の

議題にしたい。(北原)

- ・会員の魅力よりは能の魅力が、現時点では勝っていると思う。会員の性質を一元化して考えるなほうが良いと思う。(榊)
- ・会員は先着順で無料にして、積極的に会員増のイベントとして割り切ってしまうのが良いのではないか。(並木)

(3)広報部会

- ・HPについては刷新すべく動いている。
- ・ロゴの一般にもわかるような説明を考えた。HPに掲載予定。
- ・HPを1月20日に更新。トップページ「私たちの願い (JCWYP 企画書をもとに勘案)」掲載。
- ・ML第2号を1月20日に配信。次回の配信は2月4日(金)、(応物に原稿依頼)。

1. その他

(1) 応物WYP特別講演会について(岩瀬)

- ・WYPのロゴをチラシに入れる。

(2) Jr.セッションについて(並木)

- ・31件の応募があった。9件採用。残りはポスター掲示で全員参加をできるように配慮。
- ・賞は口頭発表の9件に優秀賞。内、3件を表彰。ポスター賞も設ける

(3) 資金調達について(興)

- ・経団連に赴き、意向を伝えた。
- ・学協会の自己資金、会員費、企業、政府関係からの資金で約1.6億円を目標とする

(4) 次回の運営委員会

- ・2月4日(金)10時より開催、科学技術館・第三会議室(6階)。

以上。